

# SCOUT CAMP IN THE HEART OF NATURE, NUEVA VIZCAYA

“自然に抱かれたボーイスカウトキャンプ場”



NOV. 15. 1999

空間計画  
VOYAGER

## OVERVIEW

### 21世紀の国造りにむけて

フィリピンにとって、20世紀は激動の時代であった。都市に人口が集中し、周辺地域の美しい自然を破壊し経済開発することにより都市が拡大し、人々は経済的豊かさを享受してきた。他方、地方においては、都市の経済的発展を支えるために貴重な森林を伐採し、建設資材を供給し田畑を拡大し食糧を貯蓄してきた。つまり、フィリピンの20世紀は、『経済成長のための開発と自然破壊』だったと言える。

そして今、経済成長の鈍化とともに、様々な都市問題や環境問題が生じ大きな社会問題となりつつある。それゆえ、21世紀のフィリピンの国造りは豊かな自然を保存しながら経済発展を目指す持続可能な開発を目指さなければならない。そのためには、21世紀のフィリピンを背負って立つ青少年の育成が極めて大切なのである。

ヌエバ・ビスカイヤのB.S.P協議会は、ヌエバ・ビスカイヤ州の地に21世紀のボーイスカウトの開発ニーズの対応できる計画を作成した。

この「真自然におけるヌエバ・ビスカイヤ州スカウトキャンプ」計画は、前述したようなフィリピンの将来の国造りと同じ問題を抱えるアジア諸国、そして、他の世界の日々の若者達が共に活動でき、未来においてより良きリーダーを生み出すための知識と能力のトレーニングの場としての「キャンプ場とホステル」をつくる計画である。

そして、この計画は、ヌエバ・ビスカイヤ州の地域性や特性を充分生かしたもので州の地域発展と自然環境保全を両立し、持続可能な開発の第一歩となるものである。

ヌエバ・ビスカイヤのB.S.P協議会は、ヌエバ・ビスカイヤ州政府の全面的協力のもとで21世紀の新しいボーイスカウトのビジョンを全世界へ発信しようとしている。

# 自然に抱かれたボーイスカウトキャンプ場 ヌエバ・ビスカイヤ、フィリピン

## 概 要

フィリピンボーイスカウト (BSP)、ヌエバ・ビスカイヤ議会や州政府職員にとっての大いなる夢と展望は、21世紀に向けた、環境保全型キャンプ場開発であります。

20世紀の世界各国では経済優先の自然破壊が行われてきましたが、今、それら環境破壊を21世紀に持ち越すことなく、次世代のために守る責任があります。

その意味でも、このキャンプ場計画は時宜を得たものといえるでしょう。特に、植林や果樹栽培等を通して、荒廃した環境を緑に変貌させ、美術工芸等伝統文化を継承、育成することで、将来的には、生産の場としての可能性も生まれます。

このキャンプ場開発には、人種や言語、年齢や専門性、団体個人を問わず、衆人の知識や知恵を結集しなければなりません。各人がボランティア精神を発揮し、21世紀世代のために、協力や支援を必要としています。

キャンプ場に託された夢と21世紀に向けた展望は、ボーイスカウト関係者をはじめ関係政府機関、NGO、各分野の個人や学識経験者の協力で初めて成就するものであり、世界各国の団体やスカウト世界連盟の財政支援は、この夢と展望の実現に不可欠です。このプロジェクトの完成や完成後の維持管理には、これからの世代の継続的な支援が必要となります。キャンプ場の運営は、インフラとその付属設備等を適切に活用し、収益に繋がる企画やその他キャンプ場内で実施される緒活動で得られる収入等収益（独立採算）で賄う予定です。

## キャンプ場企画の背景

1994年に開催された第1回北東ルソンボーイスカウトジャンボリー（大集会）後、ボーイスカウト活動が継続的に開催されるようになった。ヌエバ・ビスカイヤ地方議会やBSPは、それら活動を継続させ発展させるためには恒久的なキャンプ場等施設の開発が必要であると痛感、バロバブ水域を含む125ヘクタールのキャンプ場開発が決定された。PENRO-DENRの選定したこの地域は元々アグバパースカウトキャンプと呼ばれていたところである。

この地域は、デベロッパーとしてのボーイスカウトと政府の環境問題に対する強い後押しとが相まった、エコツーリズムとしてもすばらしい潜在性のある地域である。

地方政府の環境問題への関心の高さも、環境に配慮したこの事業の強力な味方である。

この地域での基本計画は、この地域の特性を最大限ひきだす地域開発、活性化に必要なインフラ整備とサービスを基本とし、来るミレニアムに供用開始を予定している。

## 基本的考え方とその方策

### 基本的考え方

このプロジェクトの支援には、各人の時間や知識等の提供が必要とされており、特に、ビスカイヤ州民にはボランティアイズムを勧めたいところです。ボーイスカウトの主軸でもあるボランティアイズムは、このプロジェクト開発を進め、支えるのに必要不可欠であり、誰にでも参加できるものです。

ヌエバ・ビスカイヤBSP協議会は、2万2千スカウト会員の強力な参加でこのプロジェクトを先導します。このプロジェクトを実施し、支援することは、ミレニアムにおけるボーイスカウトムーブメントの強化やボーイスカウトリーダーを育成することに繋がります。

政府機関、NGO、教育関係者等各分野から得られる協力や連携は、このプロジェクトを牽引し、有益性を高めることとなります。

### 方 策

各人、特に地域のボーイスカウト協議会は、文化や環境保全を認識したこの企画のため、強力かつ継続的に情報提供・広報活動を行う必要があります。全てのボーイスカウトとそのリーダーたちは、自ら次世代のため、この企画開発に参画し、推進するため結集すべきです。政府機関間、NGO、教育関係者等各分野にある者は、「遺産のための樹、教育のための樹、起業のための樹」等環境問に関する多くの専門的知識やノ

ノウハウをこの企画に提供することが要請されます。このような支援は、専門的知識を相互に共有することとなり、企業間相互の協力関係も高まるものと思われます。

このキャンプ場の指定箇所には植林が行われます。植林を通し、植林の緊急性、重要性を学ぶとともに技術を学び、知識を得、そして自然とふれあう経験を楽しみ、それらを広めることで、生活環境の緒改善等の役割を担う人材育成を果たすことにもなります。

伝統工芸等（木工細工、籠細工、陶工、絵描き、農民等）について、その専門的技術を紹介（デモンストレーション）し、興味を持たせ、将来の伝統工芸技術者を育成します。伝統工芸品は展示即売され、制作者の収入源とします。

引退したボーイスカウト関係元リーダーたちは、その専門的技術や知識の伝授あるいはそれら知識でもって、キャンプ場開発や管理業務関係に再び貢献することができます。

イフガオ州のマウントプウログとバナウエ・ライス・テラスに隣接するこの地域には、登山者や旅行者、キャンプ場利用者のためにリゾートタイプ宿泊施設等の設備を整備します。

練習エリアには、アーチェリー場、射撃レンジ、ロッククライミング、障害コース、ハイキングコース、マウンティンバイクコース等を整備し、若者たちにスリリングな体験の場を提供します。キャンプ場では入場料を徴収し、キャンプ場内の施設補修等整備や開発に活用します。

会議場、体育館、ホテル等施設はボーイスカウトの事業や訓練が行われていない場合には、外部の団体、個人、行政機関に貸し出し、ほとんどの建築物はその持つ設備を最大限、複合的に活用します。

## 企画の内容

- 1) 若者の教育施設
- 2) キャンプ場維持のための補助施設
- 3) キャンプ場資源の開発

### 若者の教育施設

若者の教育には、質の高いボーイスカウトの養成と未来のリーダー育成があります。キャンプ場はボーイスカウトの上級練習施設を含み、アウトドアで冒険的な訓練や経験を積ませ、肉体的に、知的に、社会的に、そして精神的安寧を高めます。これら訓練を通して、責任感のある健全な人格形成を行います。

### キャンプ場維持のための補助施設

キャンプ場を維持のため、補助施設を整備し、ボーイスカウト活動の支援や環境活動を支援します。施設や付属設備を含むキャンプ場の基本計画は、キャンプ場内で開催される全ゆる活動に、統括的、組織的なサービスを提供します。将来のキャンプ場施設の拡張に必要なエリアを確保します。

### キャンプ資源の開発

キャンプ場内の約80ヘクタールは再植林及や果樹栽培等に利用されます。果樹や材木の森林農場用として指定されたこのエリアは、委員会と覚書を締結し、個人や団体に割り当てられます。特定の場所においては、ベンチャー（例：田園、釣り堀、芸術、工芸等）として設立され、ボーイスカウトの収入源とします。

### 運営等実施計画

ヌエバ・ビズカイヤのBSP協議会は、このプロジェクトを実施し、地方政府やその機関、NGO等各分野との連携を図りつつ施設管理の全責任を負うこととなります。

フィリピンボーイスカウトBSP理事会及びマニラ在国内事務所は、世界各国の各種機関等から寄付を仰ぐため、スカウト世界連盟への橋渡し等連携をとります。

ヌエバ・ビズカイヤ州政府は、州技術事務所、環境天然資源事務所、PENRO-CENROを通じ、多種多様なプロジェクト等の必要に応じ、技術を提供します。

キャンプ・デレクターは、規程や一般規則の適用を実施し、キャンプ場の資源である建築物や付属施設等の維持管理を行う全体管理者に任命されます。様々な企画や活動には専門的技術や知識を有するキャンプレンジャーが、キャンプ・デレクターを補佐します。キャンプデレクターは、特別な計画や企画を実施する場合には、必要に応じて専門家を雇用します。

## 位置

— 敷地はマニラより北へ 270 km。ルソン島中央部。

- ①リージョン の南端。ヌエバ・ビスカイヤ州の州都バヨムボンの中心部の東約 5 km。マソクに位置する。
- ②リージョン の主要都市や、観光地であるバナウエへ通じる国道 CAGAYAN VALLEY ROAD (ルート 5 号線) から約 4 km 程の所にある。また、フィリピン最高峰のプログ山へ通じる 317 号線の道路沿いにある。

## 敷地

— 敷地はなだらかな東斜面の丘陵地で最低部が海拔 380 m から最高部海拔 850 m の不定形の荒地で 125ha の広さがある。

ヌエバ・ビスカイヤ州から、The B.S.P へ寄贈された敷地である。

丘陵地であるこの敷地からは、ヌエバ・ビスカイヤ州都であるバヨムボンの街やマガト川やそれを取り囲む山々などの美しい景色が眺められる。

## 全体計画

この計画は、ボーイスカウトのキャンプ場を主とする計画であるが

- 1、 青少年育成の場としてのボーイスカウト・キャンプ場
- 2、 ヌエバ・ビスカイヤの地域開発
- 3、 植林計画と自然環境保全
- 4、 ヌエバ・ビスカイヤの歴史、文化の継承
- 5、 エコ・ツーリズム

などの施設を複合的に計画したものである。

## 土地利用計画

- ・ 大規模な土地造成は基本的に行わないで現状の土地の起伏を利用する形で施設配置を行う。
- ・ 敷地中央部に主要な施設建物を配置し、その周辺部にはキャンプ場などのオープン施設を配置する。その外周は主に植林のための用地とし、かつての森林を復元し自然と人間が共存できる場をつくることを目的とする。



## 交通計画

- ・敷地は国道5号線から約4kmの所にあり、敷地のメインゲートは州道314号線に面している。州道314号線は幅員が狭く将来拡幅すべきである。
- ・敷地内は、歩行道と車道をできるだけ区分している。歩行者は主に直線道にし、車路は曲線道になっている。  
各施設へは普段は歩いて移動でき、分かり易いように道を計画してある。

## 施設配置計画

施設エリアを大きく分けて見ると、

- 1) センターエリア
- 2) ボーイスカウトキャンプエリア
- 3) スポーツエリア
- 4) 監理関係・パーキングエリア
- 5) スイミングエリア
- 6) アートクラフトとショッピングエリア
- 7) グリーンハウス・TREE NURSERY エリア
- 8) 植樹林エリア

に分ける事ができる。

各施設エリアは中央センターを中心にして放射線場に緑道と広場を設けながら極めてシンボリックかつ幾何学的に配置されている。そして、その交点と端部には高い物見塔を設けている。なぜなら、このスカウト・キャンプ計画はボーイスカウトやヌエバ・ビスカイヤにとっても重要な計画であり、シンボリックな意味を施設配置計画の上で表現することを考慮したからだ。

この施設全体配置計画は、センターエリアを中心にして7つの軸がある。

1. 北軸は、メインゲートを結ぶ軸
2. 北東軸は、キャンプエリアを通り、物見塔を結ぶ軸
3. 都市軸は、キャンプエリアを通り、バヨムボンの街を結ぶ軸
4. 南軸は、キャンプエリアを通り、物見塔を結ぶ軸
5. 南西軸は、コテージキャンプエリアを結び、物見塔を結ぶ軸
6. 西軸は、スポーツエリアを通り、ホワイトストーンを結ぶ軸
7. 水軸は、パーキングエリアを通り、水タンクを結ぶ軸

これらの基本軸をもつ施設配置計画は、建物や施設の位置の存在を明快にし、かつ周辺地域への関連性を持たせるものであり言い換えればこの考え方はボーイスカウトの精神を受け継ぐものである。

又、軸線上の WALK WAY は、並木道であり中央には細く浅い水路を設ける。

## 建築計画

### 1. センターエリア

中央に広場をもつ直径 124 m、幅 10 m の円形の 3 階建瓦葺の建物である。1 階部分は大半がピロティのオープンスペースとなっている。そこには、フィリピン各地の料理、また東南アジア各地やその他国々の料理を安く提供するレストランを設ける。ここは、ボーイスカウトキャンプの際は、子供達に料理の作り方を教える場でもある。

さらに、観光客や地元の人々も利用できるレストランを設ける。

キッチン・トイレ・倉庫などは衛生上、区画された室内とする。

ピロティのスペースは多様な使用のできるスペースである。

2,3 階部分は、ホステルとサナトリウムが設けられる。1 ベッドルーム(45 m<sup>2</sup>×10 ルーム)または 2 ベッドルーム(65 m<sup>2</sup>×10 ルーム)または、ドミトリー(90 m<sup>2</sup>×10 ベッド×10 ルーム)の部屋がある。2 階には、管理関係の諸室とドミトリーがあり、2,3 階には個室の部屋がある。又、各室は質素な作りである。

サナトリウムは、都市の居住者で美しい自然の中で長期の療養が必要で、重症でない人々が宿泊できるものであり施設内のクリニックやバヨムボンの街の病院と連動するものとする。特別な医療機器その他は設けない。

キャンプ場の宿泊施設を閑散期にうまく活用し、かつ管理することを目的としホステルとサナトリウムをうまく兼用することを考えている。

建物の周囲には幅 10 m の池があり熱帯魚が泳ぐ。その中央には直径 55 m の広場があり、その中心には柱廊に囲まれた直径 45 m のメインファイアコート(FORUM)があり様々な集会に利用せれる中心スペースとなる。

建物の周囲には幅 20 m の中庭がありその周囲には幅員 4 m の柱廊があり、その外には各キャンプ場のためのサービス通路が巡っている。その柱廊の各エリア方向部には一段高く目立った屋根ののった部分があり、この中央建物の中心性とかつ、中央から周辺へのびる緑道の方向性を表す。

## 2. ボーイスカウトのキャンプエリア

センターエリアの建物の周囲に4ヶ所のキャンプエリアがある。3ヶ所は従来のキャンプ場であり、他の1ヶ所はフィリピンの各地域の古い住宅を再現したものでコテージタイプのキャンプ場である。各キャンプ場には、センターエリアから緑道が通り、物見塔へとつながっている。

### 1) サブキャンプ場

3ヶ所のオープンキャンプエリアには、それぞれ5ヶ所、6ヶ所、4ヶ所の計15ヶ所のサブキャンプエリアがある。15ヶ所は、ヌエバ・ビスカイヤの市の数と同じであり、それぞれのサブキャンプ場には15地域の名前が付けられている。

各サブキャンプ場には、トイレ・倉庫・水廻りのある建物が用意されている。また、サブキャンプの中心にファイア・スペースがある。

各キャンプエリアへは、柱廊外周のサービス道からサービスできるようになっている。

### 2) コテージキャンプエリア

フィリピン各地の今失われつつある伝統的住宅を建設する。またここは、体験宿泊できる施設とする。ジャンボリーなどの時のリーダーの宿泊施設とすることもできるし、一般の観光客の宿泊施設とすることもできる。フィリピンの伝統的住宅の博物館である。

## 3. スポーツエリア

### 1) 体育館

センターエリア近くにあり、面積は800 m<sup>2</sup>ある。屋内運動研修施設として利用できる。

### 2) 野外スポーツコート

公式の広さをもつ。バスケットコート4面、テニスコート2面、バレーボールコート2面がある。各コートには斜面を利用して観覧席がある。

### 3) スタジアム

公式の 400 mトラックをもつ競技場である。様々なスポーツ大会もできる。トラック内側にはサッカーその他の競技もできる広さをもつ。観覧席には 400 人が収容できる。将来拡張も可能である。観覧席の下部には、トイレや倉庫その他管理関係諸室もできる。

### 4) トレーニングエリア

スタジアムの西側ホワイトストーンの間は、ボーイスカウトの様々な野外活動でのトレーニングエリアとなっている。

## 4. 管理関係エリア・パーキングエリア

### 1) 管理関係諸室

体育館の道向かいに管理関係諸室の入った建物がある。1 階には事務室・クリニックなどがあり、2 階には大会議室や集会室がある。

この建物の近くにはこの施設全体を管理する人々の住宅が 4 棟ある。

### 2) パーキング

近くには大駐車場があり、バス 10 台、一般乗用車 200 台が駐車できる。他にも温室の近くに 120 台の駐車できるスペースがある。駐車場はできるだけ樹木で覆い目立たないように考慮する。

## 5. スイミングエリア

豊富な水源が近くにあるため、斜面を利用して長さ 650 mの水の滑り台を設ける。子供用の浅いプールと公式の 50 mの 2 つのスイミングプールを設ける。滑り台の中は約 1 m曲折部にはたまりがある。

滑り台のスタート部にある既設の建物はスイミングエリアの管理棟と休憩室・トイレに改造する。スイミングプールの残り水は、温室・その他の植物栽培を利用する。

## 6. アートクラフトとショッピングエリア

ヌエバ・ビスカイヤの様々な伝統的手工芸を伝継する工房を集め、そこで実際に物を作り販売する。

織物、竹細工、絵画、焼物など昔各家庭で生活用品として作り、使ってきたものをここで作る。子供達も、ここで作る体験学習できる。そして、地域の伝統文化を広く他の地域の人に知ってもらう。

また、ここで作られた工芸品やヌエバ・ビスカイヤの特産品を販売し、この施設の維持管理費を生み出すことを考えている。

後述する、温室で育ったランや観葉植物もここで販売する。

## 7. グリーンハウスと TREE NURSERY エリア

### 1) グリーンハウス

15×50 mの温室が5棟ある。ランや観葉植物など貴重で高価な植物を育てる。特に、この地域特有の植物はすべて集めた植物園とする。子供達はここで様々な植物に知識を学ぶ。そして、ここでそれらの植物の育て方を学ぶことになる。

### 2) TREE NURSERY

ヌエバ・ビスカイヤでは、Afforestation Campaign Active(植林運動)が盛んである。地元住民をはじめ OISCA などの海外のボランティアの人々によって着々と植林活動が進んでいる。ここは、植林のための幼木を育てる場であり、植林を進めるにあたっての様々な研究の場でもある。

### 3) ライス・テラス

水の滑り台とプールの周囲にはライス・テラスはある。ライス・テラスは、食糧としての米の大切さと、祖先の限りない努力の結果を子供達に知らせる場である。米以外にも野菜などが植えられた畑がその周囲にはある。

## 8. 植林エリア

この施設周囲はすべて植林エリアである。その前をサービス道路が巡っている。WALK WAYとサービス道路の交点部分には物見塔があり、植林された姿を地上10 mから眺められるようになっている。

この植林エリアは、地元の子供達、この地方の子供達、そしてフィリピンの子供達、アジアの子供達が協力して自分達で森を作る活動の場である。

Baldmaumtain(ハゲ山)を、1本1本、木を植える事の大切さ、そしてフィリピンの自然を守る事の大切さを知るところである。

## 1) BUILDING

	INSIDE SPACE		BALCONY/PILOTIS		TOTAL
OFFICE CLINIC	600 ×	15,000 = 9,000,000	200 ×	6,500 = 1,300,000	10,300,000
CONVENTION HALL	600 ×	10,000 = 6,000,000	200 ×	6,500 = 1,300,000	7,300,000
GYM	800 ×	12,000 = 9,600,000	100 ×	6,500 = 650,000	10,250,000
STAFF HOUSE	180 ×	10,000 = 1,800,000	30 ×	5,000 = 150,000	1,950,000
ART CRAFT HOUSES	600 ×	10,000 = 6,000,000	100 ×	5,000 = 500,000	6,500,000
MAIN BLDG	6,000 ×	15,000 = 90,000,000	3,000 ×	5,500 = 16,500,000	106,500,000
CORRIDOR	0 ×	0 = 0	3,500 ×	5,500 = 19,250,000	19,250,000
OLD HOUSES	900 ×	15,000 = 13,500,000	200 ×	6,500 = 1,300,000	14,800,000
GREEN HUSES	3,000 ×	8,000 = 24,000,000	×	= 0	24,000,000
SIGHT SEEING TOWER	900 ×	14,000 = 12,600,000	150 ×	6,500 = 975,000	13,575,000
SMALL BUILDING	600 ×	13,000 = 7,800,000	200 ×	6,500 = 1,300,000	9,100,000
STADIUM SEAT	400 ×	16,000 = 6,400,000	3,000 ×	6,500 = 19,500,000	25,900,000
		186,700,000		62,725,000	249,425,000

## 2) OPEN SPACE

	AREA	UNIT PRICE	AMOUNT
ROAD FOR CARS	25,000	1,450	36,250,000
CAR PARKING	14,500	1,450	21,025,000
WALK WAY	18,000	1,900	34,200,000
STADIUM	19,000	2,800	53,200,000
RICE TERRACES	25,000	1,250	31,250,000
POOL AND CREEK	3,000	2,100	6,300,000
CAMP SITE	55,000	1,300	71,500,000
NARROW PATH	3,500	5,300	18,550,000
FORUM	10,000	3,100	31,000,000
POND	3,000	2,200	6,600,000
SPORT COURT	7,000	1,800	12,600,000
			322,475,000

1) BUILDING

249,425,000

2) OPEN SPACE

322,475,000

3) LAND DEVT, LAND SCAPING & UTILITIES

350,000,000

TOTAL

921,900,000



FIGURE 01 : LOCATION MAP

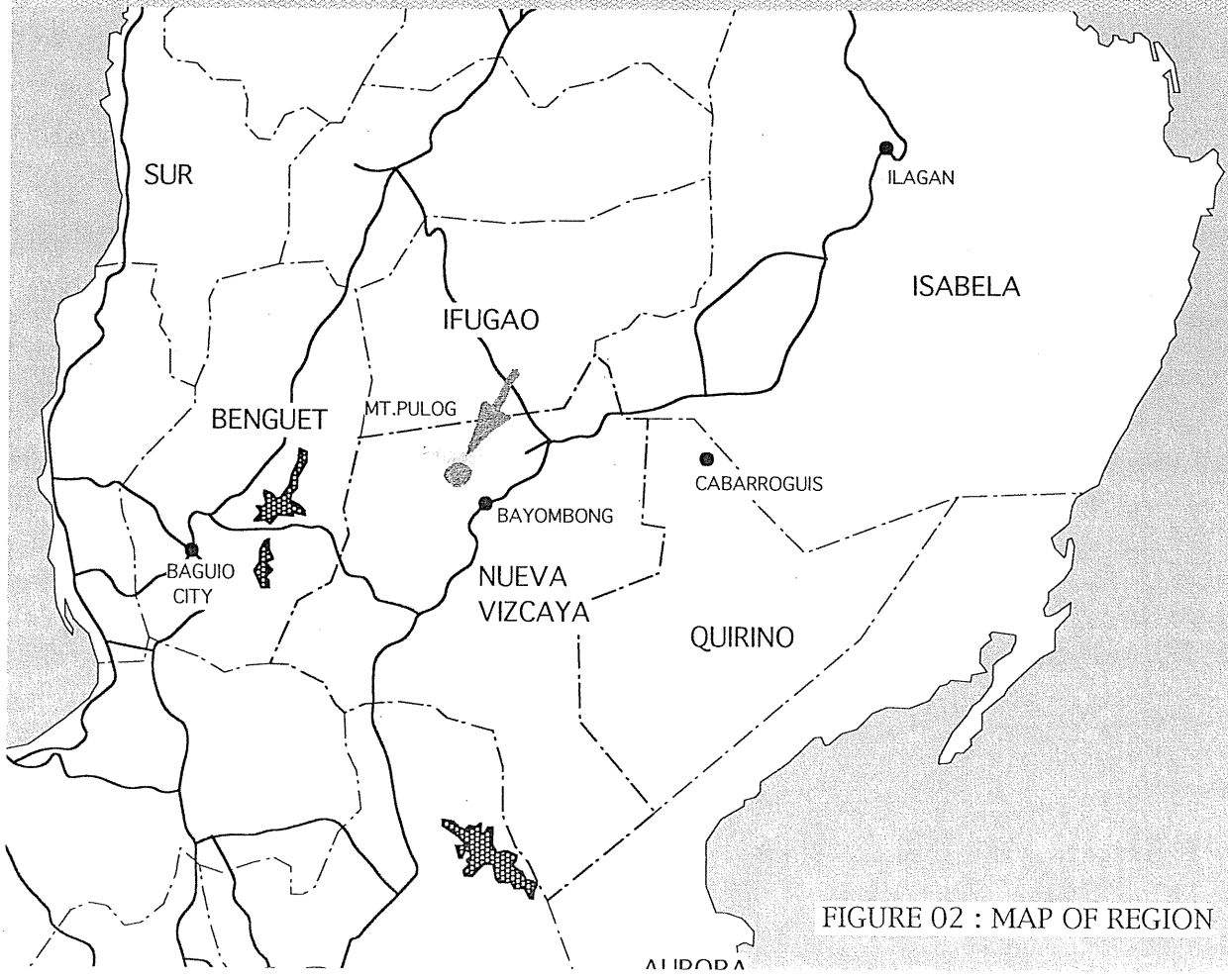
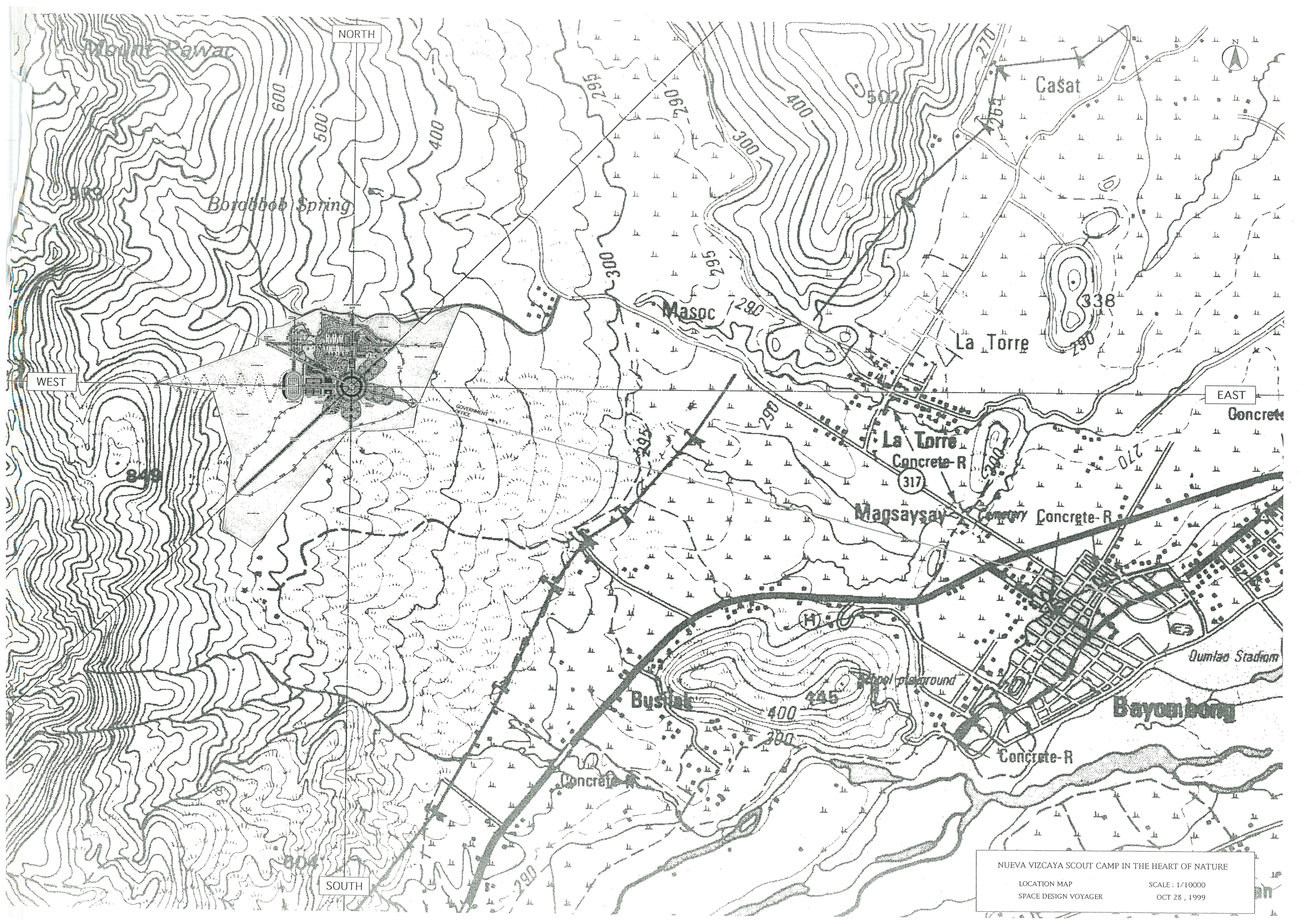
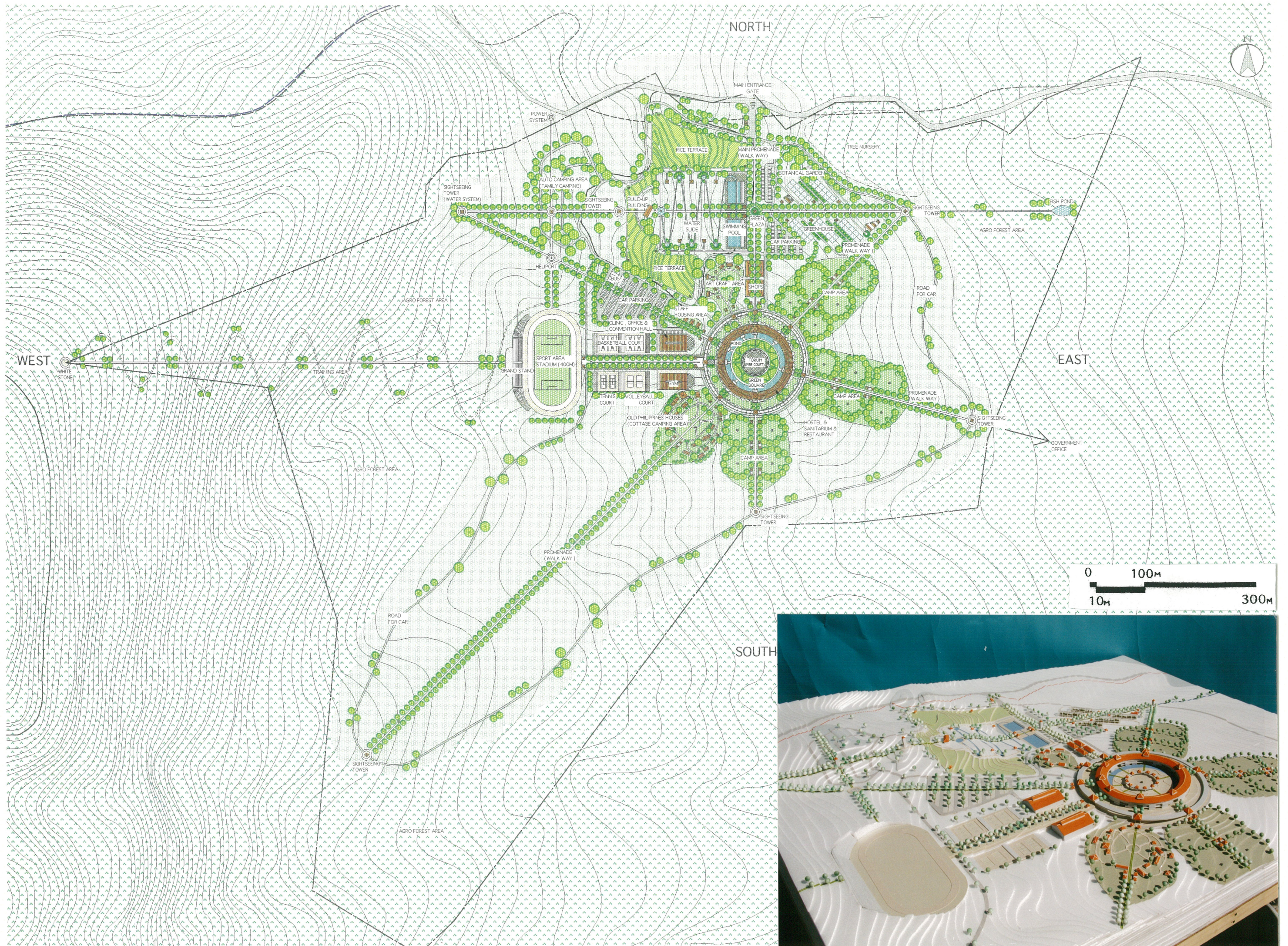


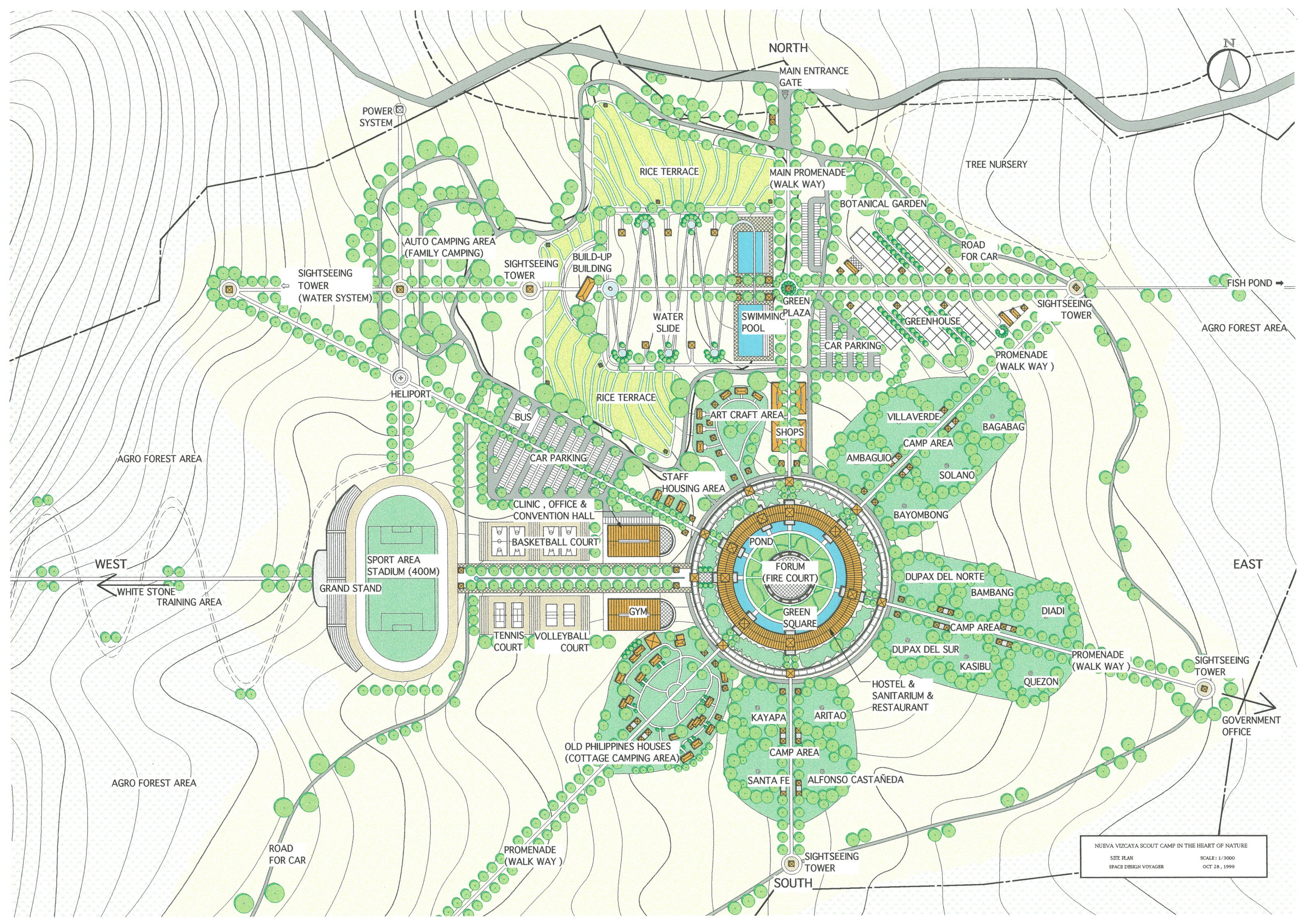
FIGURE 02 : MAP OF REGION





NUEVA VIZCAYA SCOUT CAMP IN THE HEART OF NATURE  
LOCATION MAP  
SPACE DESIGN VOYAGER  
SCALE: 1/10000  
OCT 28, 1999





NUEVA VIZCAYA SCOUT CAMP IN THE HEART OF NATURE  
 SITE PLAN SCALE: 1/3000  
 SPACE DESIGN VOYAGER OCT 28, 1999